

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和5年度) 2023年度

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	6	28	水	9:00	13:30	太田ヶ谷の森	10
活動名称	太田ヶ谷の森植樹					報告者：小沼	

＜活動目的＞

関水金属より寄贈され、サッカー場北側に仮植えされていた樹木（74本）を太田ヶ谷の森内に移植するため、太田ヶ谷の森ランドワーク会員の合同作業で実施した。

＜主な活動内容＞

- 仮植えされている樹木はシャベルで掘り起こし、軽トラまたはフラワーフレンズのトラクターで運搬した。
- 移植する場所周辺の草刈を一部実施後、移植するための穴掘り作業を源流の会の会員のユンボで実施した。
- 移植した樹木への水やりは、フラワーフレンズの水タンクおよび池の水より注水した。
- 植樹実績はコナラ2本（大谷川の橋を渡った左側）、ソヨゴ8本（ホテル放虫した大谷川沿い）、ヤブニッケイ1本（小沼の横）、コブシ4本（広場入口）、クヌギ3本（大谷川の橋を渡った左側）計18本 市長がコナラ5本搬送 合計23本

＜課題・評価＞

- 仮植えされていた樹木は3m程度の高さがあり、掘り起こし、運搬、植え込み、水やり作業は夏の重労働であり、1/3程度しか植樹できなかった。
- 植樹作業日を2日間設定したが、半日の作業が限界であった。後の2/3を秋以降に予定するが、次の準備が必要である。
ユンボの活用、運搬方法の機械化、水やりポンプの活用
- 熱中症を避けるため大量の水分を準備し、こまめな休憩を取った。
- 他団体（大谷川源流の会、鶴ヶ島の自然を守る会、フラワーフレンズ、市役所都市計）との共同作業でお互いの交流を深めることができた。

＜里山参加会員＞

（後列）鈴木勝、小澤邦、内藤、鈴木寿、大森、阿部、（前列）杉山、橋本、吉井、小沼

＜活動写真＞



